

2019 年度（令和元年度）事業報告

社会福祉法人藤心会

はじめに

社会福祉法人藤心会は、「快風苑」と「ふじの郷」という二つの特別養護老人ホームの施設経営にあたる広域的法人として、また、地域における介護サービスの提供拠点として、役員並びに職員が一丸となって事業を推進してまいりました。

また各施設においては、各々の事業計画に基づき積極的に事業を推進し、介護サービスの充実と効率的な業務の執行に努めてまいりました。

ここに 2019 年度の法人本部の取り組みと、各施設における事業を報告いたします。

I 法人本部

(1) 理事会の開催

- | | | |
|-------|-----------------|--|
| 第 1 回 | 2019 年 5 月 29 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 社会福祉法人藤心会 平成 30 年度事業報告及び同年度収支決算について・ 次期役員候補者について・ 定時評議員会の開催日程及び議案等について・ 社会福祉法人藤心会 2019 年度第 1 次補正予算(案)について・ 社会福祉法人藤心会 就業規則の改正について・ 社会福祉法人藤心会及び特別養護老人ホーム快風苑の指導監査等結果について・ 特別養護老人ホームふじの郷 LED 照明設備工事について・ 理事長職務執行状況の報告について |
| 第 2 回 | 2019 年 6 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 理事長の選定について・ 特別養護老人ホーム結いの丘建設について |
| 第 3 回 | 2019 年 10 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホーム結いの丘建設について |
| 第 4 回 | 2019 年 11 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホーム結いの丘建設について(1) 入札参加予定事業者の決定の件(2) 補助対象外の外構工事の入札結果報告 |
| 第 5 回 | 2019 年 12 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホーム結いの丘の建設について(1) 条件付き一般競争入札の結果報告(2) 補助金交付決定及び融資機関等について |
| 第 6 回 | 2020 年 1 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホーム結いの丘建設について |
| 第 7 回 | 2020 年 2 月 5 日 | <ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホーム結いの丘建設について(1) 条件付き一般競争入札の結果について(2) 融資機関等について |

- 第 8 回 2020 年 3 月 25 日
- ・ 社会福祉法人藤心会 2020 年度第 2 回補正予算（案）について
 - ・ 社会福祉法人藤心会 2020 年度事業計画（案）及び同年度当初予算（案）について
 - ・ 就業規則、継続雇用職員取扱規則、嘱託職員取扱規則、非常勤職員取扱規則、育児・介護休業等規程の改正について
 - ・ 特別養護老人ホームふじの郷 施設長交代について
 - ・ 特別養護老人ホーム結いの丘の建設について
 - ・ 理事長職務執行状況の報告について

(2) 評議員会の開催

- 定 時 2019 年 6 月 19 日
- ・ 社会福祉法人藤心会 平成 29 年度事業報告及び同年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）並びに財産目録の承認について
 - ・ 理事及び監事の選任について

(3) 就業規則の改定

働き方改革関連法案の施行に伴い、年次有給休暇等の取扱い等を改正し、2019 年 7 月より施行。

併せて、継続雇用職員・嘱託職員・非常勤職員の休業の取扱い、特別休暇等の見直しを行い就業規則の改定、2020 年 4 月 1 日より施行。

また、各施設で定めていた育児・介護休業等規程を改定し、法人統一のものと し 2020 年 4 月 1 日より施行。

(4) 特別養護老人ホーム「結いの丘」の建設

神奈川県藤沢市内の特別養護老人ホームの建設について、一般競争入札による施工業者の決定等、開設に向けて準備を進めている。

Ⅱ 特別養護老人ホーム「快風苑」

特別養護老人ホーム「快風苑」は、創設以来 15 年となり、着実に事業を推進してまいりました。施設の競合などの厳しい経営環境の中、効率的かつ安定した施設運営を目指しつつ、介護サービスの充実強化に努めてまいりました。

ここに、2019 年度の各部門の取り組み目標に対する評価・課題について報告し、2020 年度の事業計画に基づいた各部門の重点目標を提示いたします。

(1) 2019 年度 各部門の重点目標に対する年度末評価・課題

	2019 年度の重点目標	具体的な取り組み	年度反省・課題
総務	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントへの参加・提案 ○「できること」「やってみてみたいこと」の提案・発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ハンドベル」の演奏など、行事への積極的な参加 ○「パパ・ママの職場見学」のような企画の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部門の協力も得てコンクールへの参加ができた ○さらに様々な楽器を使い、音楽を楽しむ機会を増やしたい
管理	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内機器の整備を充実し、円滑に使用する 	<ul style="list-style-type: none"> ○倉庫の確保を検討 ○施設使用機器の円滑運営のため整備 ○入居者が楽しめる空間となるよう、屋上・中庭の整備を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ○PC 入れ替えを実施、全機種入れ替えができた ○屋上・中庭の整備はおおむね終了した ○各設備機器の不具合が発生しており、引き続き交換修理を実施していきたい
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ○季節を感じる行事食の新規導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○厨房本社、老健栄養士との連携 ○予算内で提供できる献立作成 ○季節を感じる行事食を年度内に 2 回以上導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○三者(厨房・老健・快風苑)の話し合いのもと行事食を新規導入できた。目先が変わり、喜ばれた。 ○今後さらに三者の連携を強化していきたい。
看護	<ul style="list-style-type: none"> ○安定した看護体制の確立 ○各部署との情報共有とスムーズな連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○看護課内での情報に対する共通認識と、的確な情報共有により、安全・安心な看護を提供する ○各部署との情報のやり取りを確実にする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○看護課会議を開催し、情報共有・共通認識の強化を図った。 ○他部署との連携や情報共有の徹底のためのシステム作りが課題である。

	2019年度の重点目標	具体的な取り組み	年度反省・課題
相談	<ul style="list-style-type: none"> ○本入所・ショートステイ稼働率 98% ○多様化・複雑化するニーズの把握と、効率的で柔軟なサービス提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報誌送付・空き情報 FAX 等広報活動 ○SS 新規居宅事業所申し込み 5件 ○各関係機関との確実な情報共有、正確な情報の各部署への発信・共有 ○医療ニーズへの対応・余暇活動の充実 ○入居者・家族との対話・相談時間の確保 ○地域交流の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報誌、FAX 等 100～200 件送付することで今まで問い合わせがなかった事業所からも連絡がくるようになった。 ○各課等への情報発信が不足していた。 ○余暇活動の充実・入居者・家族等の対話に、より一層取り組みたい。 ○地域交流への取り組みは模索中である。
介護	<ul style="list-style-type: none"> ○サービスの質の向上を目指し、安心・安全な介護を提供 ○個別ケアの取組の充実 ○風通しの良い職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内研修の充実と、積極的な外部研修への参加・伝達研修によるサービスの質の向上 ○適切な介助の取組の実施、時間の有効活用 ○効果的なCW会議の開催等により、職員間のコミュニケーションを深める ○働きやすい職場環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内研修に関しては実施できているが外部研修については職員の人数の関係もあり積極的な参加はできなかった。 ○排泄介助の回数については定着したが時間の有効活用までは至らず。 ○日々のコミュニケーションは取れているが、さらに職員一丸となる工夫が必要である。そのため、効果的なCW会議の実施を模索したい。

(2) 2019年度の入居者・退居者等の状況

1. 利用者の状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	191
女	54	53	52	53	51	53	53	53	52	54	53	53	634
計	70	69	68	69	67	69	69	69	68	69	69	69	825

2. 上記利用者の介護度別

平均介護度 4.13

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護度5	26	26	26	25	25	25	25	26	27	26	26	25	308
介護度4	27	26	26	27	28	28	27	26	24	25	24	24	312
介護度3	17	17	16	17	14	16	17	17	16	18	19	20	204
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	70	69	68	69	67	69	69	69	67	69	69	69	824

3. 2020年3月31日現在における待機者数 150名

4. 2019年度新規入所者の状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3
療養医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他医療施設	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
介福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介保健施設	0	0	0	1	0	1	1	1	2	1	0	0	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
計	0	0	0	2	0	3	1	2	3	2	0	2	15

5. 退所者状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死亡	0	0	0	2	1	2	0	1	3	2	0	2	13
長期入院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
他施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	0	2	2	2	0	2	3	2	0	2	15

6. 短期入所利用者状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人員	12	15	15	15	13	15	13	14	13	12	14	11	162
延人員	119	138	145	148	132	144	143	134	119	93	99	105	1,519

7. 上記利用者の介護度別延べ人数

平均介護度 3.8

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護度5	32	38	38	45	40	47	41	47	48	18	22	27	443
介護度4	45	58	63	55	61	56	51	45	32	25	31	64	586
介護度3	29	32	30	30	24	23	34	30	23	42	17	14	328
介護度2	3	8	4	8	0	5	8	8	12	8	8	0	72
介護度1	10	2	10	10	7	13	9	4	4	0	7	0	76
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	119	138	145	148	132	144	143	134	119	93	99	105	1519

(3) 2020 年度 各部門の目標と取り組み

快風苑では、【すべては みんなの 笑顔のために】をスローガンに、
2020 年度の重点目標として、《ていねいな言葉、安心感のある対応》を掲げ、『入居
したい、入居させたい』と思われる施設を目指します。

部 門	2020 年度の重点目標	具体的な取り組み・数値目標
総 務	○地域貢献の窓口となり、地域 交流を活発にする	○自治会と連携を取り、地域交流の機会 を設ける（1 回以上） ○新規のボランティアグループ獲得 （1 団体以上）
管 理	○施設設備及び使用機器の安 全な運用	○給湯ボイラー設備の修理又は入れ替え ○電話設備の全面入れ替え
栄 養	○満足度の高い食事提供を目 指す	○ご利用者とコミュニケーションをと り、希望に合わせたクラブ活動や行事 を行う
看 護	○安定した看護体制の確立 ○他課とのスムーズな情報共 有と連携	○マニュアルの作成、業務内容の見直し ○医療的視点をを用いた個別ケアの PDC
相 談	○時代やニーズに適した対応 をスピーディーに行い、選ば れる施設となる	○従来のやり方にとらわれることなく、 柔軟に対応する ○本入所、ショート稼働率 98%
介 護	○“個、を尊重し、安定したケ アの提供により、“また来た くなる、会いたくなる、施設 を目指す	○研修や日々の業務を通し、職員の質・ス キルの向上を図る ○誰が聞いても不快に感じない言葉か け、態度で接する

Ⅲ 特別養護老人ホーム「ふじの郷」

特別養護老人ホーム「ふじの郷」は、2019年2月に創設10周年を迎え、11年目のスタートを切ることができました。平塚市は介護施設の整備数が全国平均の1.5倍と厳しい経営環境の中で、安定した施設運営はもちろんのこと、やりがいがあり、働きやすい環境の施設を目指し介護サービスの充実強化に努めてまいりました。

ここに、2019年度の各部門の取り組み目標に対する評価・課題について報告し、2020年度の事業計画に基づいた各部門の重点目標を提示いたします。

(1) 2019（令和元）年度 各部門の重点目標に対する年度末評価・課題

	2019年度の重点目標	年度末評価	課題
事務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務が偏らない仕組み作り。 ○ 経営管理目線を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務引継ぎ中。 ○ コスト削減やエコ活動意識の芽生え。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨機応変な立ち回りに対応。 ○ 小さな「気づき」を書き留める心の余裕。
管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全な送迎 ○ 施設内設備の確認、早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 概ね目標通り達成できている。 ○ 設備・備品の修理依頼が増えているが迅速に対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運転適性を見極め、安全な送迎に繋げる。 ○ 非常用設備・備品の個々点検の励行。
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全に楽しく最後まで食を楽しむことができるようにするためのプロジェクト推進。 ○ 温冷配膳車を使用しない形での配膳方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在15名のKTチャート実施。各ユニットからのフィードバックが出来ていないユニットがある。 ○ 温冷配膳車の使用が出来ているため、配膳方法についての検討は未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単に記録ができ、各ユニットの職員にPTの取り組みが理解できるような工夫を行う必要がある。
看護	<ul style="list-style-type: none"> ○ 褥瘡ゼロ ○ インフルエンザゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症については未然に防ぐことができた。 ○ 褥瘡については、未達となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 褥瘡については、各部門と連携の上、引き続き対応を強化していく。

	2019年度の重点目標	年度末評価	課題
相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稼働率の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所、ショートの利用者の体調不良による、長期入院やキャンセルが続き、緊急等の受入れも柔軟に対応したが、97%の稼働率維持が困難であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の重度化が急速に進んでいるため、受け入れ体制の整備及び、地域のニーズ合わせた柔軟な対応。 ○ ロングショートの利用者急増によるサービス内容及び運用の再検討。
介護	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寄り添う時間を大切にしようを年間目標とする ○ 施設内研修の充実を図る ○ ケアマニュアルを元にふじの郷のユニットケアを確立していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なレクの実施、ゆとりある職員配置など行うことで達成しようとしたが不十分であった。 ○ 年間計画のとおり実施したが、研修が現場のケアに生かされている実感が乏しい。 ○ ケア向上委員より発信したケアマニュアルに沿ったケアを実施したが、曖昧な部分もあり、全職員に周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな目標を立てるが、業務優先にならず、隣にいて過ごす時間を大切にすることを継続。 ○ 研修の実施方法・内容を精査し、充実したものにする。 ○ ケアマニュアルの確認、更新を行った際の、周知徹底。

(2) 2019年度の入居者・退居者の状況

1. 入居者の状況(入院・外泊者除く)

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	14	16	15	14	13	15	15	15	15	15	13	13	173
女	56	56	57	58	55	56	60	55	55	54	57	57	676
計	70	72	72	72	68	71	75	70	70	69	70	70	849

2. 上記入居者の介護度別 平均介護度 3.98

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護度5	21	22	25	27	27	28	28	28	27	30	27	26	316
介護度4	27	27	25	24	23	22	25	21	22	21	24	25	286
介護度3	17	18	16	15	12	15	16	14	13	12	13	14	175
介護度2	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	5	4	62
介護度1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
計	70	72	72	72	68	71	75	70	69	70	70	70	849

3. 令和2年3月31日現在における待機者数 69名

4. 2019年度新規入居者の状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在宅	1		1										2
療養医療施設													0
他医療施設													0
介福祉施設		2	1	1		1	4				2		11
介保健施設				1			1					1	3
その他	1			1			1						3
計	2	2	2	3	0	1	6	0	0	0	2	1	19

5. 退居者状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死亡(看取り)		1	2	3		1	4				1		12
死亡(医療機関等)	1	1	1				1						4
長期入院						1					1	1	3
他施設													0
計	1	2	3	3	0	2	5	0	0	0	2	1	19

6. 短期入所利用者状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人員	58	54	54	52	58	59	61	55	55	49	42	48	645
延人員	567	551	537	548	643	640	599	548	554	523	510	579	6,799

7. 上記利用者の介護度別延べ人数 平均介護度 3.07

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護度5	78	81	57	28	27	20	50	52	47	62	44	49	595
介護度4	115	38	31	80	171	207	168	189	199	191	200	229	1,818
介護度3	205	240	262	264	265	250	236	186	187	143	126	160	2,524
介護度2	98	94	107	113	107	121	95	71	80	91	107	98	1,182
介護度1	71	94	78	60	73	42	50	50	41	36	33	36	664
要支援2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要支援1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	7	12
計	567	551	537	548	643	640	599	548	554	523	510	579	6,799

(3) 2020年度 各部門の目標と取り組み

ふじの郷では、「元気になる介護」を念頭に、ユニットケア・個別ケアをより一層充実させ、常に利用者本位のサービス提供を実践し、地域に寄り添い、地域と共に歩む施設を目指します。

	2020年度の重点目標	具体的な取り組み・数値目標
事務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務が偏らない仕組み作り。 ○ ご利用・ご家族・地域の皆さんに気持ちよく、安心して施設をご利用いただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で仕事を抱えず、数人の目で確認することでミスを減らす。 ○ 接遇についての意識の向上と対応「気づき」と「心配り」
管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心・正確な送迎を行う。 ○ 安全・清潔・快適な施設の達成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無事故・無違反100% ○ 防災対策の推進 ○ 施設内の床・窓・エアコンの清潔保持。 ○ 汚物室は整理整頓しやすいように、レイアウトを変更し、労働環境の改善につなげる。
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最後まで口から食べるプロジェクトの推進。 ○ 外部講師の指導を仰ぎ、入居者の喜びに寄与する。 ○ 美味しい食事と食イベントの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ KTチャート対象者を増やす。 ○ 各ユニットからプロジェクトスタッフを選出し日々のケアに取り入れていく。 ○ 厨房職員との連携、施設の味の好みを伝え美味し食事の提供に繋げる。 ○ 食イベントの再開と実施
看護	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早期対応により入居者の苦痛軽減に努める。 ○ 各種感染症対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体調等の見極めを行い、医療との連携を図る。 ○ コロナウイルスに関しては、引き続き厳重な注意喚起が必要。保清・補水の励行により尿路感染等の頻度を減少させる。
相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定した稼働率の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稼働率97%の維持 ○ ニーズの把握と柔軟かつ迅速な対応。 ○ HP・SNS・広報紙等の活用による情報発信。
介護	<ul style="list-style-type: none"> ○ ケアマニュアルの活用 ○ 技能実習生の受入れ体制の整備 ○ 新施設開所に向けた、介護職員のスキルアップ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ケアマニュアルの加除・確認・追記できるように整備する。 ○ 技能実習生受け入れチームを構成し、体制を整える。 ○ 職員の異動によるケアの質の低下防止と、継続した育成の実践。